

2025年10月の天候（山形県）

目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位値更新表
- 7 その他

山 形 地 方 気 象 台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田、新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過（2025年10月）

【今月の特徴】

○高温 ○多雨

- ・差首鍋で、日降水量が10月として1位を更新した。
- ・鶴岡・大井沢で、日最大10分間降水量が10月として1位を更新した。
- ・酒田・飛島・鼠ヶ関で、日最低気温の高い方からが10月として1位を更新した。
- ・浜中・東根で、日最低気温の低い方からが10月として1位を更新した。
- ・10月23日に月山で、10月29日に朝日岳・雁戸山・瀧山で初冠雪を観測した。

【概況】

月

この期間、低気圧や前線の影響で天気は短い周期で変わり、前半は雨や曇りの日が多かった。11日から12日は大雨となった所があった。気温は平年より高く、かなり高い所があった。期間後半には、一時的に西高東低の気圧配置となって寒気の影響を受ける日もあり、下旬は寒暖の差が大きくなった。

月平均気温は高い。月降水量は多く、かなり多い所があった。月間日照時間は、村山は平年並から少なく、置賜は少なく、かなり少ない所があった。庄内と最上は平年並から多く、庄内では少ない所があった。

上旬

この期間、低気圧や前線の影響で、天気は短い周期で変化し、曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は、かなり高い。旬降水量は、村山と庄内は平年並で多い所があり、最上は平年並で少ない所があった。置賜は平年並で、多い所と少ない所があった。旬間日照時間は、村山と庄内及び最上は多く、かなり多い所があった。置賜は、平年並で多い所があった。

中旬

この期間、低気圧や前線の影響で、天気は短い周期で変わり、雨や曇りの日が多く、11日から12日は大雨となった日があった。

旬平均気温は高く、置賜と庄内ではかなり高い所があった。旬降水量は多く、かなり多い所があった。旬間日照時間は少なく、村山と置賜ではかなり少ない所があった。

下旬

この期間、高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、低気圧や寒気の影響により天気は数日周期で変化した。

旬平均気温は、村山と庄内及び置賜で低く、かなり低い所があった。最上はかなり低い。旬降水量は、村山と置賜は多く、庄内は平年並から多く、少ない所があった。最上は平年並から多い。旬間日照時間は、平年並から少ない。

2 日々の気圧配置（2025年10月）

- 1 日：東北地方は、気圧の谷となっており、上空の寒気の影響を受ける。
- 2 日：東北地方は、気圧の谷となっており、上空の寒気の影響を受ける。
- 3 日：高気圧が、日本海にあって、東北地方を覆う。
- 4 日：高気圧が、千島近海にあって、北日本を緩やかに覆う。一方、低気圧が、日本海を東北東へ進む。
- 5 日：低気圧が、日本海にあって、東北東へ進む。
- 6 日：低気圧が、東北地方を通過し、大陸の高気圧が、次第に北日本へ張り出す。
- 7 日：高気圧が、北日本を覆う。また、台風第 22 号が日本の南にあって北西へ進む。
- 8 日：低気圧が、沿海州からオホーツク海へ進み、寒冷前線が北日本を通過する。また、台風第 22 号が日本の南を北東へ進む。
- 9 日：高気圧が、中国東北区にあって、北日本を覆う。一方、台風第 22 号が八丈島付近から日本の東へ進む。
- 10 日：高気圧が、中国東北区にあって、本州付近を覆う。一方、台風第 23 号が、日本の南を北西へ進む。
- 11 日：高気圧が、沿海州付近にあって北日本を覆うが、東北南部は気圧の谷となり湿った空気の影響を受ける。
- 12 日：低気圧が、日本海にあって東へ進む。また、別の低気圧が日本の東にあって東北東へ進む。
- 13 日：前線が関東の東海上から日本のはるか東に停滞している。一方、前線の南側に台風第 23 号があって東北東へ進む。
- 14 日：高気圧が、北日本を覆うが、気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。
- 15 日：高気圧が、東北地方を覆う。
- 16 日：低気圧が、朝鮮半島から東北南部を通過して日本の東へ進む。
- 17 日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。
- 18 日：低気圧が日本海と朝鮮半島付近にあって、東北東へ進む。一方、高気圧が、日本の東にあって、東へ移動する。
- 19 日：東北地方は、西高東低の気圧配置となり、寒気の影響を受ける。
- 20 日：東北地方は、西高東低の気圧配置となり、寒気の影響を受ける。
- 21 日：高気圧が、北日本に張り出しているが、寒気の影響を受ける。
- 22 日：高気圧が、北日本に張り出しているが、寒気や気圧の谷の影響を受ける。
- 23 日：高気圧が、北日本に張り出している。
- 24 日：高気圧が、東北地方を緩やかに覆う。
- 25 日：高気圧が、北海道から日本の東へ移動する。一方、低気圧が日本海を東へ進む。
- 26 日：低気圧が、日本海と三陸沖にあって、それぞれ北東へ進む。
- 27 日：低気圧が、日本の東にあって、北東へ進む。一方、高気圧が華北付近にあって、南東へ移動する。
- 28 日：日本付近は西高東低の気圧配置で、東北地方は寒気の影響を受ける。
- 29 日：高気圧が、日本付近を覆う。
- 30 日：高気圧が、日本付近を覆う。
- 31 日：低気圧が、四国沖を発達しながら北東へ進む。

3 気候統計値（2025年10月）

・2025年10月の平均気温、降水量、日照時間

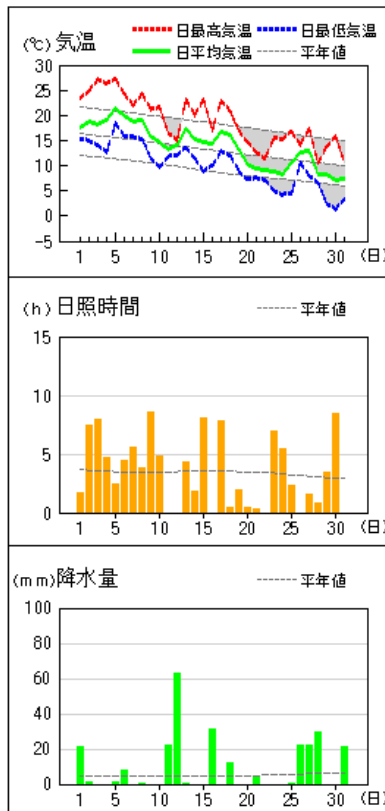
		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本 年	平年差 （℃）	階級区分	本 年	平年比 （%）	階級区分	本 年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	19.1	+2.7	かなり高い	37.5	104	多い	50.1	122	多い
	中旬	15.2	+1.0	高い	64.5	202	多い	21.2	47	かなり少ない
	下旬	10.5	-1.5	かなり低い	49.5	135	多い	38.7	84	少ない
	月	14.8	+0.7	高い	151.5	144	多い	110.0	83	少ない
酒田	上旬	20.3	+2.6	かなり高い	58.0	98	平年並	59.4	127	多い
	中旬	16.3	+0.7	高い	112.5	186	多い	32.1	68	少ない
	下旬	12.1	-1.6	かなり低い	62.5	91	平年並	44.9	104	平年並
	月	16.1	+0.5	高い	233.0	124	多い	136.4	100	平年並
新庄	上旬	18.3	+2.8	かなり高い	32.0	66	平年並	51.4	147	多い
	中旬	14.5	+1.4	高い	129.5	299	かなり多い	24.9	69	少ない
	下旬	9.4	-1.7	かなり低い	100.5	156	多い	29.3	84	少ない
	月	13.9	+0.7	高い	262.0	167	かなり多い	105.6	101	平年並
米沢	上旬	18.2	+2.3	かなり高い	38.5	99	多い	37.3	91	平年並
	中旬	15.1	+1.5	高い	48.0	134	多い	22.6)	51	かなり少ない
	下旬	9.6	-1.7	かなり低い	75.0	172	多い	35.8	81	少ない
	月	14.1	+0.6	高い	161.5	137	多い	95.7)	74	かなり少ない

【注】次の表示 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし (平年値は1991～2020年の平均値)

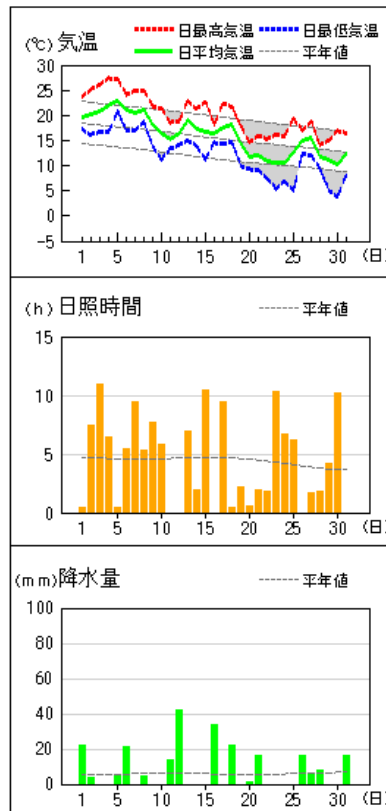
4 気象経過図（2025年10月）

アメダス 気象経過図：2025年10月01日-2025年10月31日

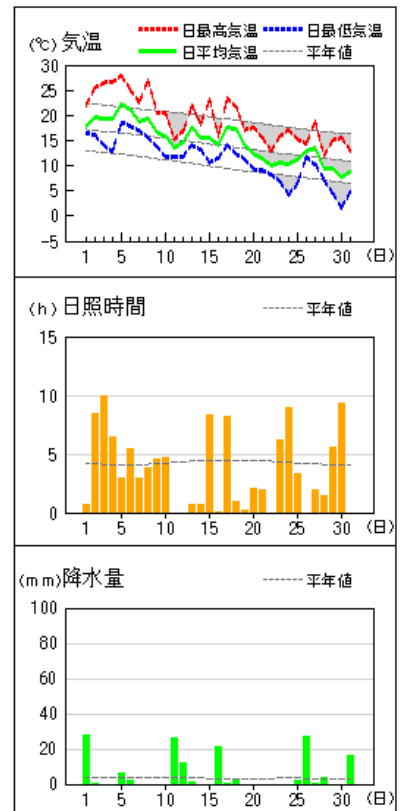
新庄



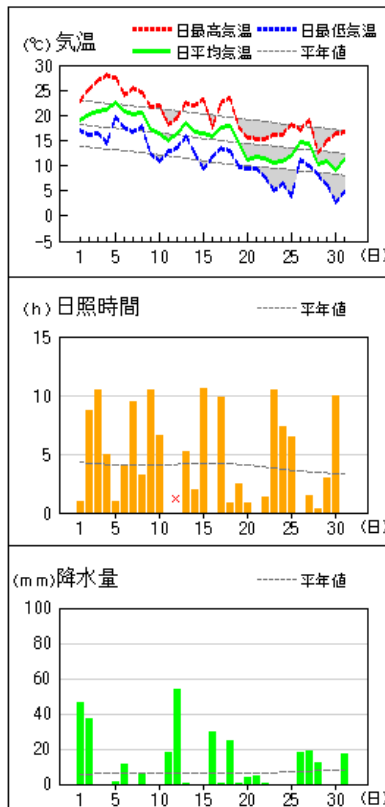
酒田



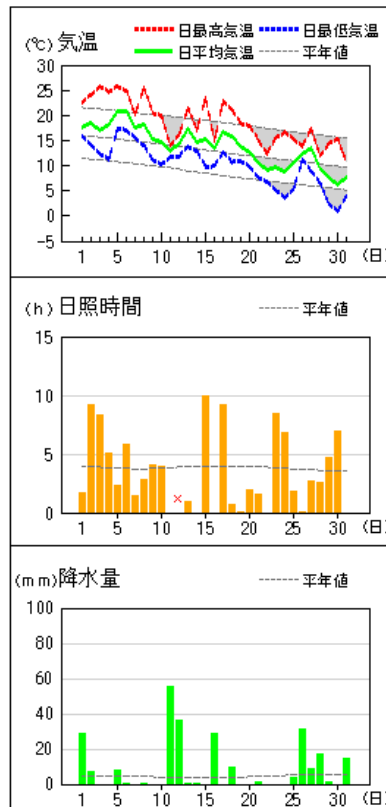
山形



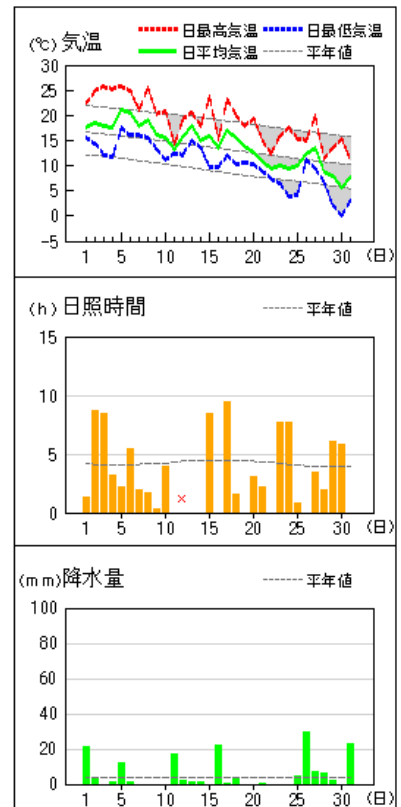
鶴岡



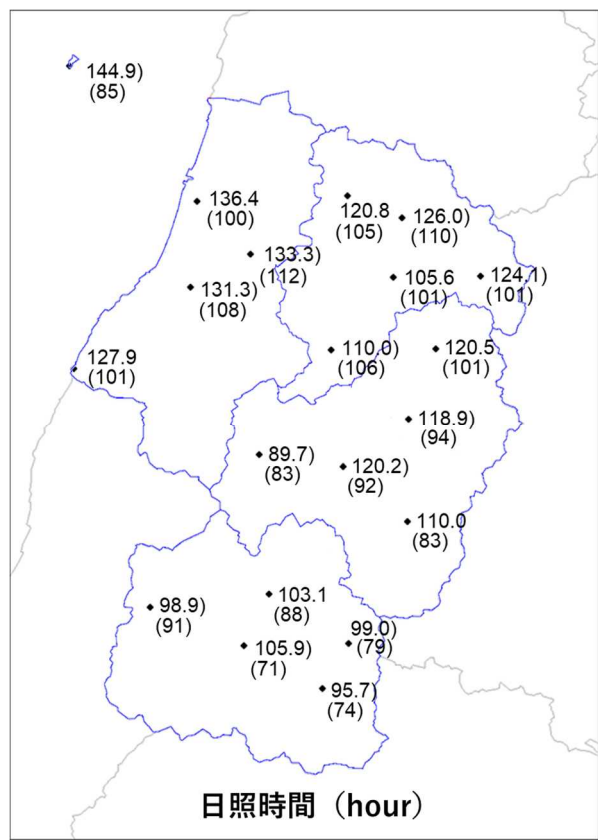
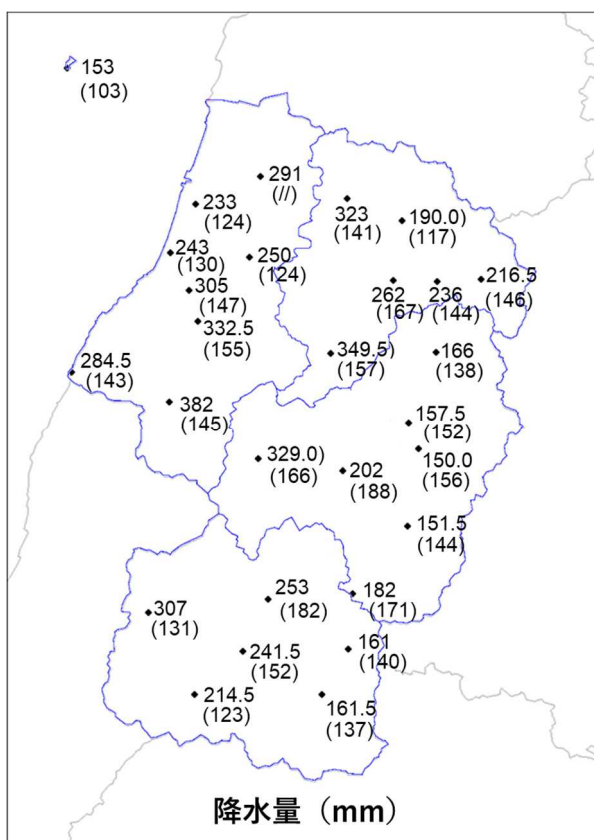
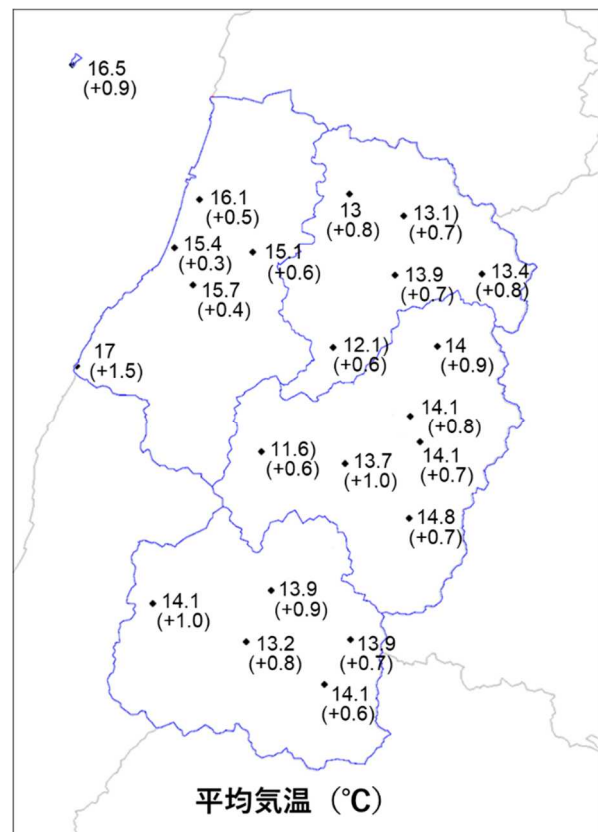
長井



米沢



5 気象分布図（2025年10月）



注】Xは欠測、)は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の()内は平年差(°C)、降水量の()内は平年比(%)、日照時間の()内は平年比(%)を示す。

//は平年値なし。平年値は1991～2020年の平均値。

6 極値・順位値更新表 (2025年10月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄): 10月として1位～3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
月降水量の多い方から (mm)	新庄	262.0	3	—	1957年
月最大24時間降水量 (mm)	新庄	71.5	3	12日	1957年
日最低気温の高い方から (℃)	酒田	20.8	1	5日	1937年
	新庄	18.4	3	5日	1957年
日降水量の多い方から (mm)	新庄	63.0	3	12日	1957年

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く): 10月として1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日降水量 (mm)	差首鍋	85.5	1	12日	1977年
日最大10分間降水量 (mm)	鶴岡	15.0	1	2日	2008年
	大井沢	8.5	1	1日	2009年
日最低気温の高い方から (℃)	飛島	21.1	1	5日	1979年
	鼠ヶ関	21.2	1	5日	1977年
日最低気温の低い方から (℃)	浜中	0.8	1	30日	2003年
	東根	-1.7	1	30日	2003年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

7 その他

○季節現象観測

気象庁では、雪・冠雪の観測を行っています。2026寒候年(2025年8月から2026年7月までの期間)に初めて現象を観測した日を「初冠雪」などとして発表しています。

※山形地方気象台では、初めて霜が降りた日(初霜)や初めて氷が張った日(初氷)の季節観測を実施してきましたが、令和7年度の冬のシーズンから終了しました。

【初冠雪】(2025年10月)

対象の山	2026寒候年	平年	平年との差	2025寒候年	昨年との差
月山	10月23日	10月20日	3日遅い	10月21日	2日遅い
朝日岳	10月29日	10月25日	4日遅い	11月7日	9日早い
雁戸山	10月29日	11月2日	4日早い	11月7日	9日早い
瀧山	10月29日	11月3日	5日早い	11月7日	9日早い

※初冠雪: 夏が終わった後、気象台から見て、山頂付近が初めて積雪などで白く見えた日

2026寒候年の季節現象観測の状況は山形地方気象台のホームページでご覧いただけます。

<https://www.data.jma.go.jp/yamagata/detail/winter.html>

※各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は、気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード(CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】 https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=060000